

図書館員が選ぶ この一冊

39

『妻に捧げた1778話』
眉村 卓／著 新潮新書

『ねらわれた学園』や『なぞの転校生』などSF作品で知られている作家、本人の物語。

長年連れ添った妻が余命1年と宣告され、夫は決意する。毎日1話、400字詰め原稿用紙3枚以上の話を書いて聞かせることを。妻がアハハと笑うか、ニヤリとするもの、もちろんプロの作家として恥ずかしくないものを目指して。すると、妻は宣告された余命をはるかに超えて生き、作り上げた作品は1778話となった。



毎日1話書き続けた中の19話と、3回忌を機に振り返ったエッセイを追記して出版した。自身の作品解説や少し長い後書きも含めて妻への思いが詰まっている。